

キャタピラー

適用範囲		モデル名		D4-16	
		仕様		STD	
		適用号機		KWM00001~	
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値	
エンジン	エンジン本体 【電子制御式】	エンジン回転速度			
		ハイアイドリング	min ⁻¹	2100	
		ローアイドリング	min ⁻¹	800	
		トルコンストール状態 (冷却水温)	min ⁻¹ (°C)	—	
		(作動油温)	(°C)	—	
		エンジン油圧	kgf/cm ² KPa	2.9~ 280~	
		(油温)	(°C)	(通常運転)	
	(回転速度)	(min ⁻¹)	(2200)		
	弁すき間	吸気弁 隙間	mm	0.26±0.05	
		排気弁 隙間 (測定条件)	mm	0.33±0.05 (冷間時)	
燃料装置	噴射ノズルの燃料噴射開始圧力	圧縮圧力又は	kgf/cm ²	3.6	
		気筒間圧縮圧力差	KPa	350	
		(冷却水温)	(°C)	(—)	
(回転速度)	(min ⁻¹)	(—)			
冷却装置	ファン駆動ベルトの張り		KPa	設定なし	
				(コモンレール)	
	[測定位置・条件]			設定なし	
	[kgとNの両方で表記]	[N]		(自動張り調整)	
動力伝達装置	クラッチペダル又はインキングペダル	ペダルの遊び取り付け高さ	cm	—	
		ペダルの遊びとストローク	cm	—	
		ペダルの全ストローク	cm	—	
	走行ミックス油圧	主クラッチ型	ブースタ油圧	MPa	—
				kg/cm ²	—
		ダイレクトシフト型	ミッション潤滑油圧	KPa	—
				kg/cm ²	—
		流体継ぎ手型	トルコン油圧	KPa	—
				kg/cm ²	—
		ミッション潤滑油圧	KPa	—	
	クラッチ油圧	KPa	—		
	(ミッション油温)	(°C)	—		
	(エンジン回転速度)	(min ⁻¹)	—		
プロペラーシャフト	ボルト締付けトルク		N・m	—	
			kg・m	—	
ステアリング装置	レバー	レバー遊びのストローク	cm	—	
		レバーの全ストローク	cm	—	
	ステアリングクラッチ油圧	MPa	—		
	(油温)	kg/cm ²	—		
	(回転速度)	(°C)	—		
		(rpm)	—		

キャタピラー

適用範囲		モデル名		D4-16	
		仕様		STD	
		適用号機		KWM00001~	
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値	
走行装置	クローラベルト	ベ ゴ ム	張り(たわみ量)	mm	—
			測定方法・条件 (図面番号表示)		
		鉄 シ ユ ー	張り(たわみ量)	mm	図1参照
			測定方法・条件 (図面番号表示)		
	リンクピッチの伸び	mm	—		
	測定方法・条件 (図面番号表示)				
	履板取付ボルト 締付けトルク	N・m kg・m	400±70 40.8±7.1		
制動装置	駐車ブレーキ 走行ブレーキ	停止状態保持性能 制御能力	床面勾配 1/5以上	—	
作業装置	シリンダー自然伸縮	ブルドーザー	ブレードリフトシリンダー 作業装置姿勢 (図面番号表示)	mm/分	32mm/5分 地面から254mm
			ブレードチルトシリンダー 作業装置姿勢 (図面番号表示)	mm/分	13mm/5分 チルト左一杯
			リッパースタックシリンダー 作業装置姿勢 (図面番号表示)	mm/分	—
		リッパースタックシリンダー 作業装置姿勢 (図面番号表示)	mm/分	—	
		リッパースタックシリンダー 作業装置姿勢 (図面番号表示)	mm/分	—	
		リッパースタックシリンダー 作業装置姿勢 (図面番号表示)	mm/分	—	
	ドローザ・ショベル	リフトアームシリンダー 作業装置姿勢 (図面番号表示)	mm/分	—	
			mm/分	—	
		(作動油温)		(°C)	28-48°C
		作業機速度	ブルドーザー	リフトアームシリンダー 作業装置姿勢 (図面番号表示)	秒
リッパースタック 作業装置姿勢 (図面番号表示)	秒			—	
ドローザ・ショベル	リフトアームシリンダー 作業装置姿勢 (図面番号表示)		秒	—	
	リフトアームシリンダー 作業装置姿勢 (図面番号表示)		秒	—	
(作動油温)		(°C)	—		
油圧装置	油圧回路 設定圧力	主回路設定圧力	kg/cm ² MPa	255±3 25.0±0.35	
		(作動油温)	(°C)	(38~65)	
備考					

★印：新車基準値を表す。

項目	測定方法
<p>図 1. 履帯調整方法</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 車両をその全長の2倍の距離動かし、ブレーキを使用せずに惰力走行で停止させる。 2. バルブ・カバーを取外す。（図は開けた状態） 3. トラックを張る場合、手動グリース・ガンでトラック調整バルブ（1）からマルチパーパス・グリース（MPGM）を充填する。 <p>トラックを緩める場合、リリーフ・バルブ（2）を反時計方向に回す。</p> <p>次に、トラック調整バルブ（1）を1回転させて開けて、グリースを逃がす。</p> <p>その後、リリーフ・バルブ（2）を閉めてください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 5. バルブ・カバーを閉じる。 6. 反対側の履帯に同様の作業を行う。 <div data-bbox="353 483 728 726" style="text-align: center;"> </div>